

令和元年度横須賀市児童生徒体力・運動能力、運動習慣等調査報告

1 調査の目的

横須賀市立小学校及び中学校に在籍する児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、状況を把握する。また、調査結果を集計・分析したものを各学校や各個人へ還元するとともに、横須賀市として必要な健康・体力向上推進に関する施策の策定や、各学校の取り組みの工夫改善に役立てる。

2 調査の対象及び内容

(1) 調査対象者

- ・横須賀市立小学校及び特別支援学校小学部の3～6年生全員
- ・横須賀市立中学校及び特別支援学校中学部の1～3年生全員

(2) 調査内容

- ア 実技に関する調査（新体力テスト）
- イ 質問紙調査

3 調査の実施時期

令和元年4月～7月

4 調査の実施状況

		調査対象児童生徒数 (A)	実施児童生徒数 (B)	実施率 (B/A)
小学校	3年生	3,042	2,987	98.5%
	4年生	2,935	2,889	98.5%
	5年生	3,058	2,991	98.1%
	6年生	3,170	3,087	97.7%
中学校	1年生	3,079	2,945	95.9%
	2年生	3,014	2,787	92.6%
	3年生	3,207	2,932	91.5%

5 調査結果について（概要）

（1）実技調査の結果（全国平均値、神奈川県平均値との比較）

●男子

●小学校5年生

	種目別平均									体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)		20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	
国	16.37	19.80	33.24	41.74		50.32	9.42	151.47	21.60	53.61
県	16.56	19.63	33.98	39.32		47.14	9.45	149.55	20.89	52.62
市	16.48	20.06	32.60	39.68		48.73	9.40	150.97	20.24	52.66

●中学校2年生

	種目別平均									体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 1500m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	
国	28.64	26.85	43.43	51.87	400.03	83.13	8.02	195.02	20.35	41.56
県	28.18	26.40	42.27	50.39	399.18	84.12	8.05	191.49	20.07	40.27
市	28.62	28.03	45.30	52.34	400.16	85.39	7.96	199.01	20.08	42.66

●女子

●小学校5年生

	種目別平均									体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)		20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ソフトボール 投げ (m)	
国	16.09	18.95	37.62	40.14		40.80	9.63	145.70	13.59	55.59
県	16.05	18.56	38.27	37.19		35.59	9.70	142.55	12.62	53.61
市	16.31	19.00	37.48	37.59		36.86	9.71	145.02	12.97	54.16

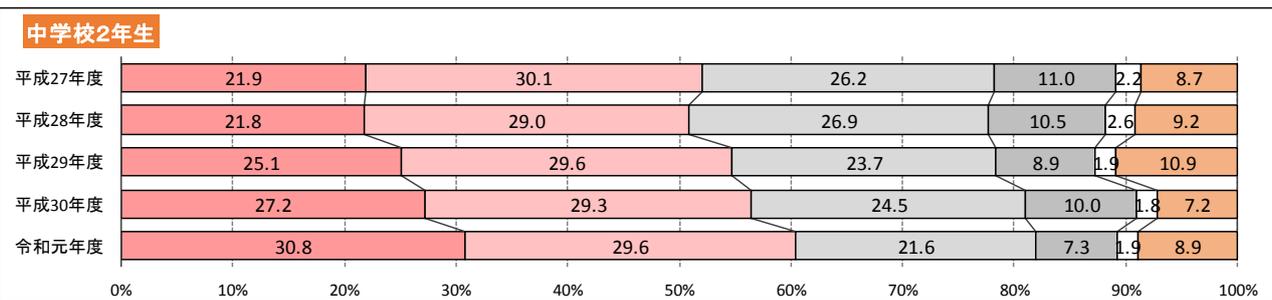
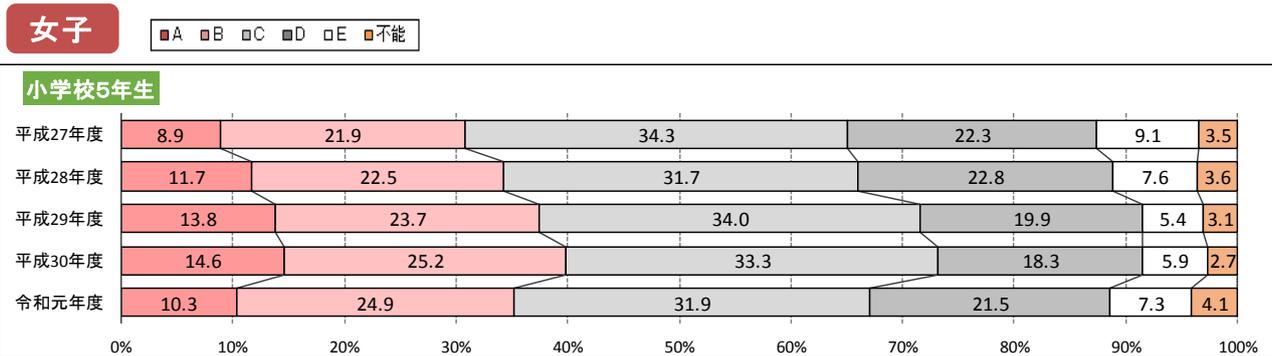
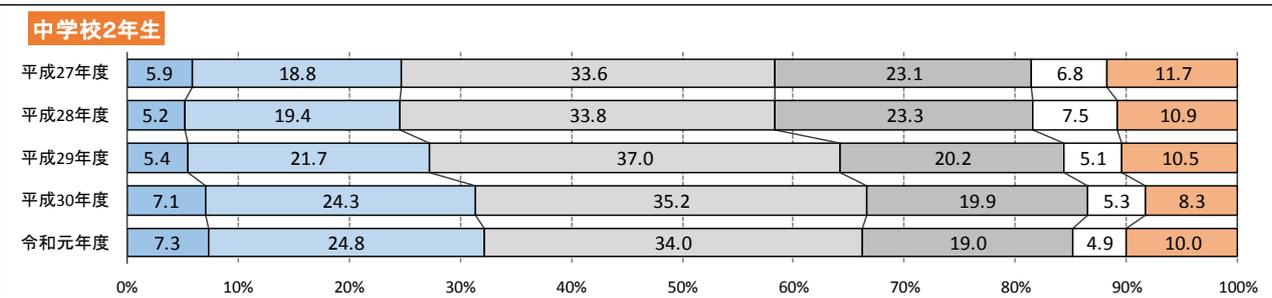
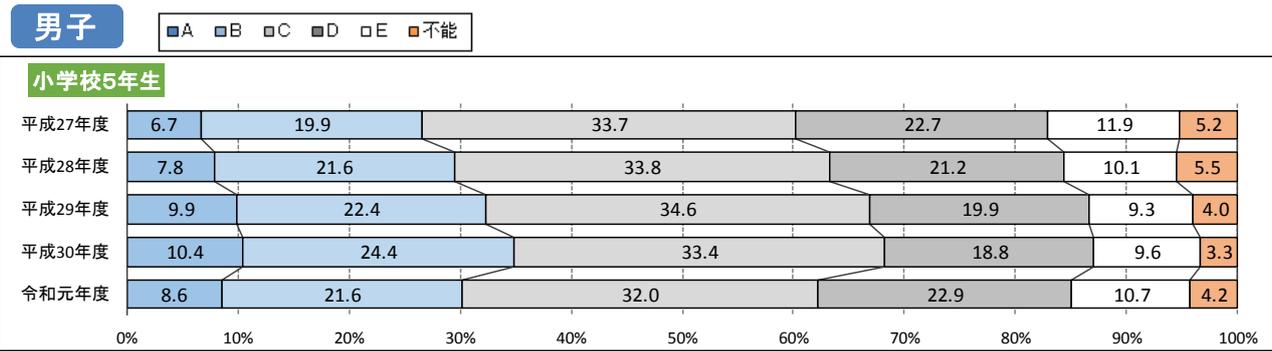
●中学校2年生

	種目別平均									体力 合計点
	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	持久走 1000m (秒)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	
国	23.74	23.58	46.29	47.25	290.55	57.98	8.81	169.71	12.87	50.03
県	23.50	22.90	44.95	45.75	293.73	57.20	8.84	165.67	12.42	48.13
市	23.60	24.78	46.90	47.77	293.85	60.25	8.79	173.26	12.76	50.88

※全国平均値より本市平均値が上回っているところに網掛け（数値に下線）している。

（持久走、50m走は値が小さいほど記録がすぐれている。）

(2) 総合評価の状況（調査開始時からの経年変化）



※「総合評価」は体力合計点を年齢別の「総合評価基準表」に照らし、AからEまでの5段階で判定したものを示す。

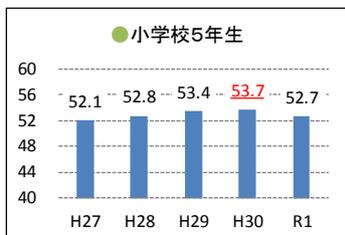
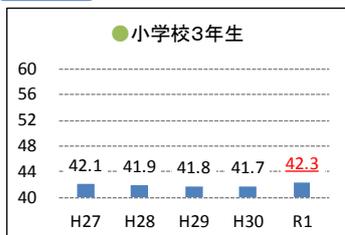
今年度の調査結果からわかったこと

●体力合計点の経年変化の関連

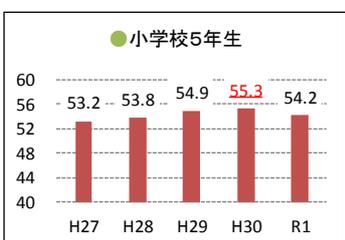
体力合計点の経年変化

男子

※グラフ横軸の「H～」は調査年度、縦軸の数値の単位は「点」。



女子

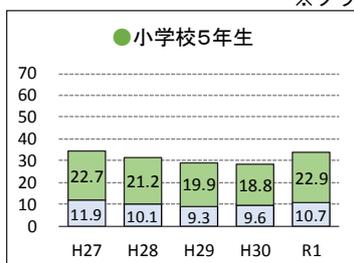
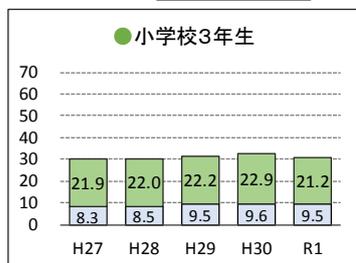


D + E 率の経年変化

男子

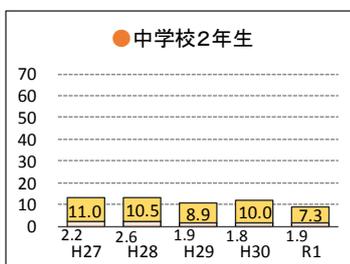
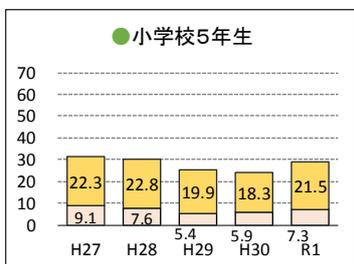
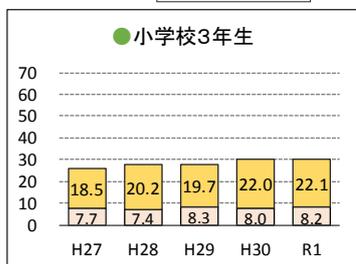
■ D ■ E

※グラフ横軸のH～は「年度」、縦軸は「%」



女子

■ D ■ E



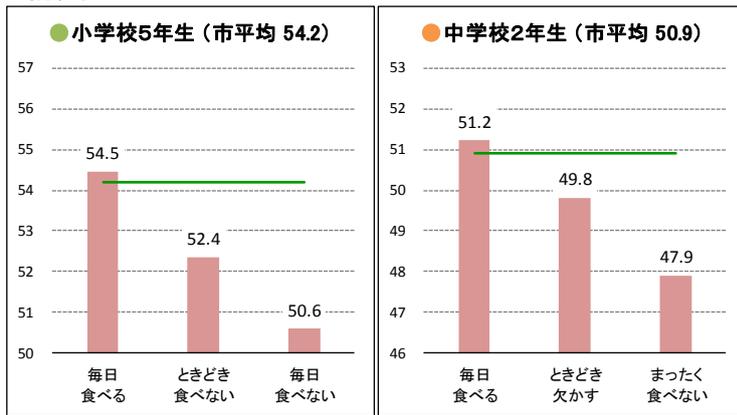
体力合計点の経年変化から、小学校3年生男子、中学校1・2年生男女で最高値であったが、多くの学年で低下が見られた。また、D + E 率が増加した学年が多く見られた。

(P. 23、27 参照)

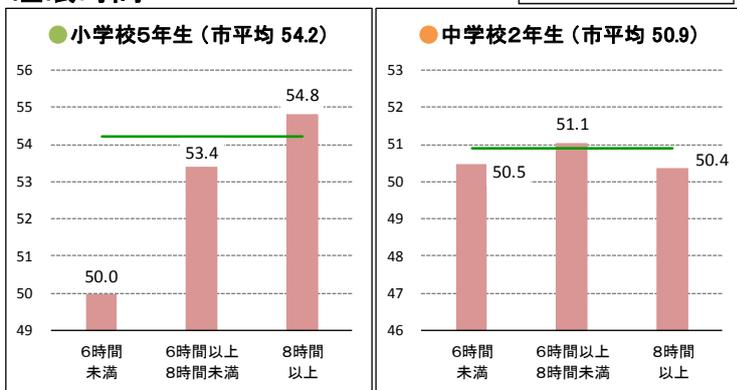
●朝食の摂取状況と睡眠時間との関連

※図は小学校5年生と中学校2年生女子の例

朝食



睡眠時間



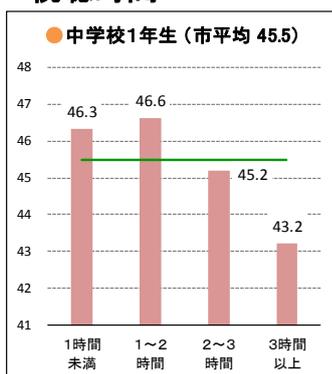
朝食を「毎日食べる」と回答した児童生徒の体力合計点は、すべての学年において平均点よりも高く、朝食を欠かしている児童生徒よりも高い傾向にある。また、1日の睡眠時間が「6時間未満」の児童生徒は、体力合計点が低い傾向にあり、小学校においては、すべての学年において平均値より低い値となった。

(P. 47、48 参照)

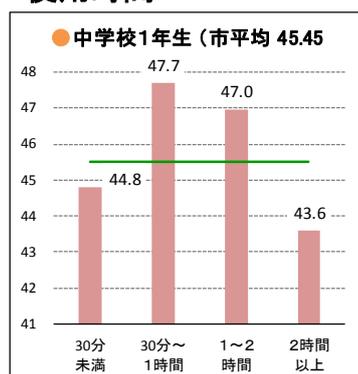
●テレビとゲームの視聴時間、携帯電話やスマートフォンの使用時間との関連

※図は中学校1年生女子の例

視聴時間



使用時間



1日のテレビやゲーム機等の視聴時間が3時間以上のグループと携帯電話やスマートフォンの使用時間が2時間以上のグループの体力合計点は平均値より低い傾向にある。

1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間は、学年が上がるにつれて、長くなる傾向にある。

(P. 49、50、68、75 参照)

女子

